



いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

第74回大会 TEAM FUKUOKA NEWS



福岡県選手団サポートニュース R1. 10.7(月) Vol.14

ハンドボール競技 少年女子 激戦の末 見事優勝!

全国高校選抜、インターハイと優勝し、3冠を目指して臨んだ国体。対戦相手は、過去2回の決勝戦と同様の相手となる東京都。前半から一進一退の攻防が続き、前後半60分でも決着がつかず、延長戦に入るも両チーム譲らず第二延長へ。残り2分で福岡が1点リードすると、更に速攻で加点し、27-24でタイムアップ。見事優勝を果たした。主将で守護神(GK)である柿添選手(明光学園高校)は、「3年間やってきた最高のチームで最高の結果が残せて嬉しい。」と笑顔を見せてくれた。



ハンドボール少年女子

ボクシング競技 少年男子 中山慧太選手2位・原田周大選手2位入賞!

7日(月)ボクシング競技少年男子フライ級中山慧太選手(東福岡高校)、原田周大選手(豊国学園高校)2名の決勝戦が水戸桜ノ牧高等学校城北校体育館で行われた。中山選手は広島県、原田選手は東京都との対戦となった。昨日までの勢いによって、両者とも積極的な試合展開を見せたが激戦の末、準優勝という結果となった。試合後、中山選手は「決勝は自分の得意な距離を保てなかったことが敗因。これからもっと練習します。」原田選手は「次のステージは大学生。関東リーグの最優秀選手になるため、これからも練習を続けます。」と前向きなコメントをしてくれた。「もっと強いアスリートになってくれる」そんな雰囲気をもっている謙虚な両名の今後の活躍に期待したい。



ボクシング少年男子
(左)中山選手・(右)原田選手

柔道競技 少年男子3位入賞!

福岡県は、順当に準決勝に勝ち進み、千葉県と対戦。先鋒中島(西日本短期大学附属高校)が判定で勝利を収めるも、次鋒・中堅・副将が引き分けに持ち込まれ、勝負は大將戦に。無差別で行われる大將戦では、服部選手(大牟田高校)が懸命に戦うも体格差を生かされ、一本負けで3位決定戦に回った。3位決定戦の奈良県との戦いでは、トップアスリート育成事業指定選手の次鋒田中・中堅竹市・副将森の大牟田高校の3選手が勝利し、見事3位を勝ち取った。試合後、乙部監督は「選手はよく頑張ってくれた。準決勝の千葉県との戦いでは選手たちに十分に力を発揮させてやる事ができなかった。」と優勝を狙っていただけに、悔しそうな表情を見せた。



柔道少年男子

ボート競技 少年女子シングルスカル 優勝!陸上 競技別天皇杯は上位入賞濃厚!

悪天候のため、変則的な競技スケジュールとなったボート競技。少年女子シングルスカルの準決勝で1位通過した松田京子選手(成立学園高校)が、その結果により、見事優勝を果たしている。更に、陸上競技の勢いが止まらない。7日(月)終了時点で、競技別天皇杯2位という順位につけている。8日(火)の最終日にまだ決勝種目を残し、追加得点が期待される福岡陸上チーム。最終日まで、獲得点が期待できる。

陸上競技 優勝者及び入賞者一覧】※10月7日(月)

少年女子A	1000mH	伊藤 彩香選手	(福岡県立青豊高校)	優勝
少年女子B	1500m	柳楽 あずみ選手	(筑紫女学園高等学校)	優勝
少年男子A	400m	藤好 駿太選手	(福岡県立修猷館高等学校)	2位入賞!
成年男子	砲丸投	畑瀬 聡選手	(日本大学)	3位入賞!
成年女子	走高跳	仲野 春花選手	(日本発条(株))	6位入賞!
成年女子	5000m	矢野 栞理選手	(キャンオンアスリートクラブ九州)	7位入賞!



松田選手